



VSL工法 外ケーブル用定着装置



鳥崎川橋

定着装置の概要

V S L工法の外ケーブルの定着装置には、使用するP C鋼より線により下記の種類があります。

- 裸P C鋼より線 + セメントグラウト (P Aシー ス)
- 被覆P C鋼より線 (エポキシ、ポリエチレン)
- 防錆P C鋼より線 (亜鉛メッキ、アンボンド)

定着機構は、基本的にはV S Lポストテンション工法に用いられている定着機構と同じですが、被覆P C鋼より線、防錆P C鋼より線に対応した定着装置と緊張装置を用意しています。

外ケーブルの規格と構成

V S L工法の外ケーブルに使用するP C鋼材は、JIS G 3536 (P C鋼線およびP C鋼より線) に適合したものを採用します。P C鋼より線7本より 15.2が19本よりなるケーブル構成を示します。

テンダンの構成

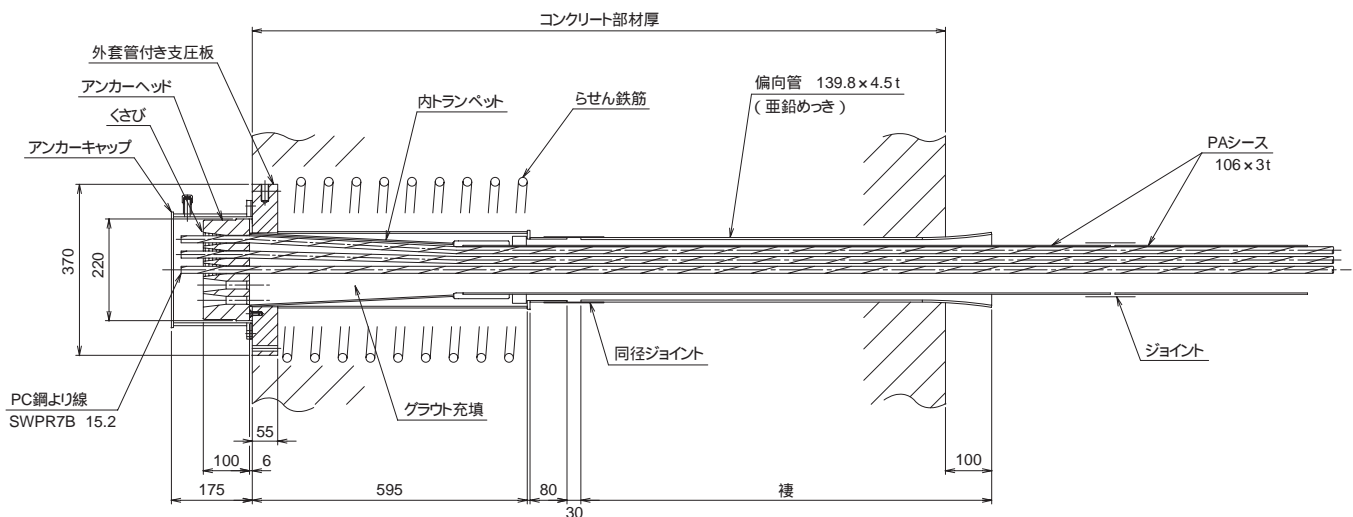
緊張材の 共通表示	定着具 呼 称	断面積 (珪)	単位面積 (kg/m)	引張荷重 (kN)	降伏荷重 (kN)
19S15.2	E6-19	2,635.3	20.919	4,959	4,218

定着装置

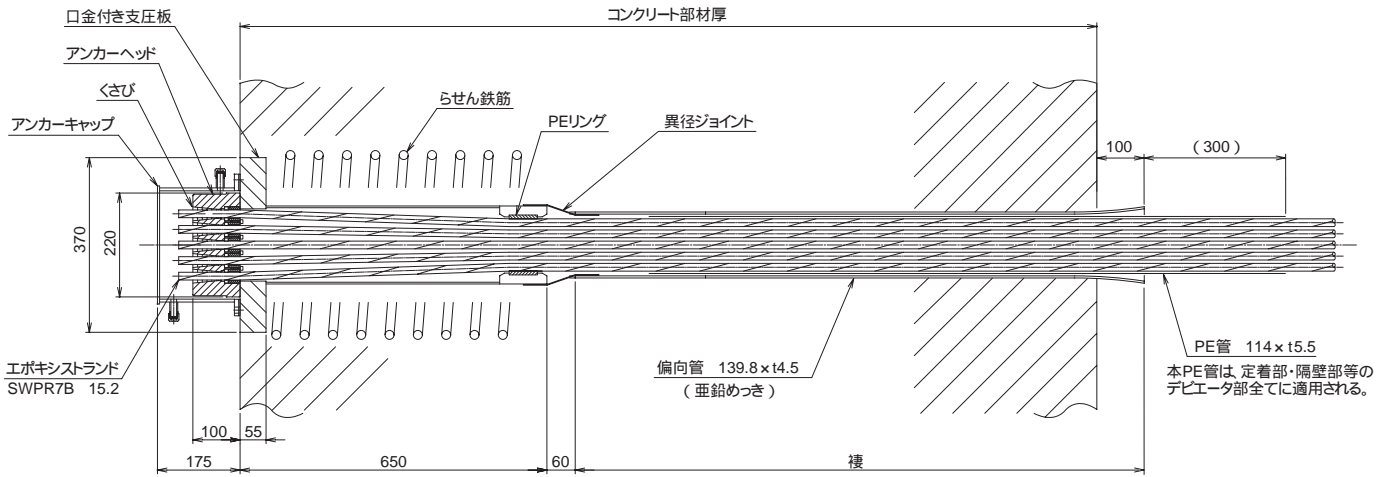
外径や材質は、V S L工法設計施工基準 (V S L協会) およびP C工法設計施工指針に記載されているものと同じです。

全ての定着装置について、ケーブルの取替えが可能です。

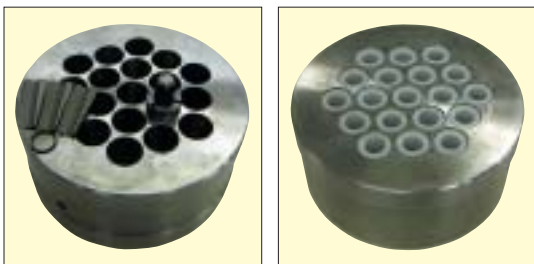
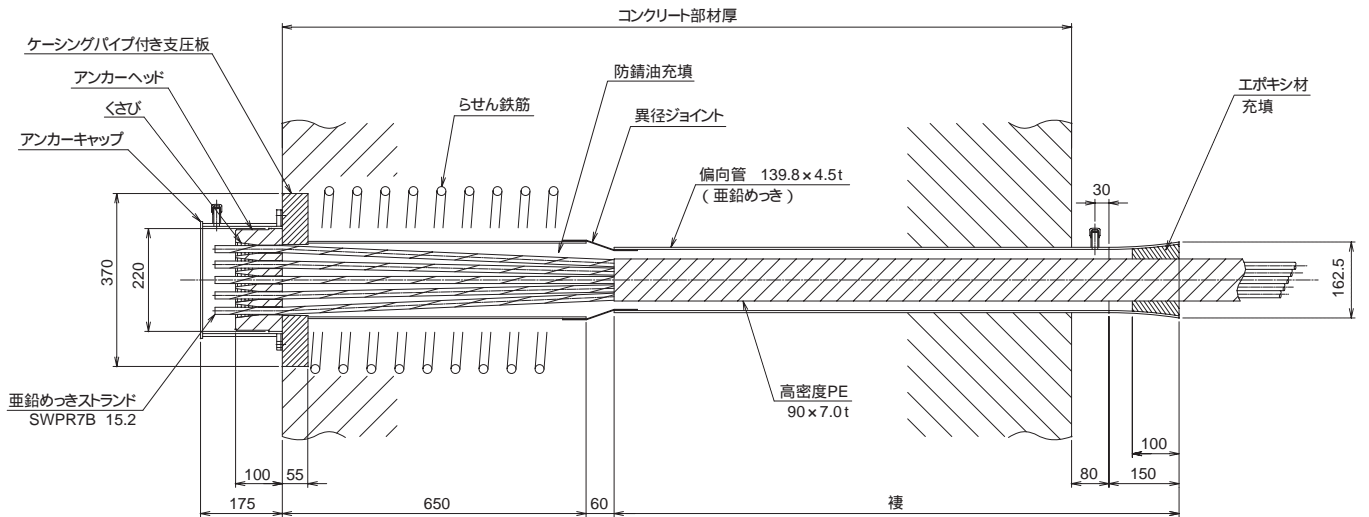
裸P C鋼より線 + セメントグラウト (P Aシー ス) 用定着装置



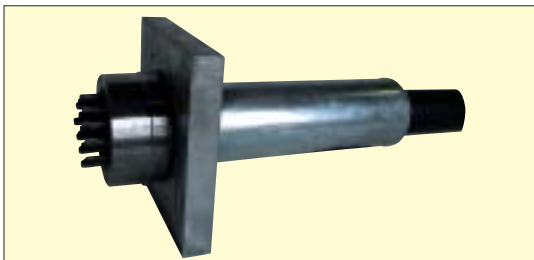
被覆PC鋼より線（エポキシ、ポリエチレン）用定着装置



防錆PC鋼より線（亜鉛メッキ、アンボンド）用定着装置



エポキシ被覆用アンカーヘッド

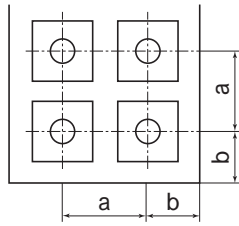


グラウト用定着装置



VSLジャッキ（ZPE - 400DA被覆PC鋼線緊張用）

定着具の最小配置間隔



		fc _p 27N/ 袞	fc _p 30N/ 袞
E6-19	a	420	400
	b	230	230

定着時のセット量

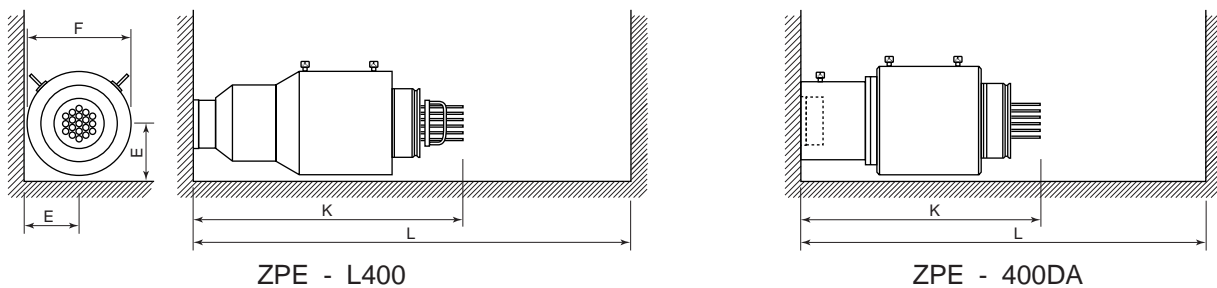
PC鋼材の種類	セット量
裸PC鋼より線	6 袞
被覆PC鋼より線	9 袞
亜鉛メッキPC鋼より線	6 袞

註：アンボンドタイプは裸PC鋼より線と同じです。

緊張装置

VSL工法の外ケーブルに使用する緊張装置は、VSLポストテンション工法の装置をそのまま使用できます。ただし、エポキシおよびポリエチレン被覆PC鋼より線には、ダブルアクションジャッキ（くさび押し込み用ジャッキが内蔵されている）を使用しなければならない。

下記に、VSLジャッキの必要作業空間を示します。



外ケーブル用緊張装置

VSLジャッキ適用範囲と必要作業空間

(単位：袞)

ジャッキ f _{xst}	外径	全長	挿代	緊張ユニット	E	F	K	L
ZPE-L 400 × 210	450	890	990	E6-19	255	450	1,090	1,980
ZPE 400DA × 210	475	870	870	E6-19	270	480	970	1,840

ZPE-400DAは、被覆PC鋼より線緊張用です。



VSL JAPAN 株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番26号 立花新宿ビル5F
TEL : 03-3346-8913(代表) FAX : 03-3345-9153